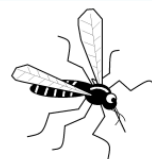


感染症 注意情報

海外渡航を予定される方へ



- ◆ 海外渡航により思わぬ感染症にかかる可能性があります。
- ◆ 特に蚊は、様々な感染症を媒介するので、人に最も危害を及ぼす生物とされています。

蚊はどこにいるの？



<アウトドア派>

- ◆ デング熱やジカ熱の病原体を運ぶ蚊は、日中に活動し、茂み近くに生息しています。
- ◆ マラリアの病原体を運ぶ蚊は、夕暮れから夜間に活動し、自然環境を好みます。

<インドア派>

- ◆ ウエストナイル熱の病原体を運ぶ蚊は、夜に活動し、屋内に潜んでいます。

刺されなければいいの？



- ◆ 蚊が媒介する感染症のジカ熱は、性行為によって感染することがあります。
- ◆ 胎児に影響があると言われるジカ熱の流行地に渡航する場合は、渡航中と帰国後6か月の避妊が望ましいとされています。

山梨県 ジカ熱

検索

刺されると危ないの？



- ◆ 病原体を持っている蚊に刺されると、感染症にかかることがあります。
- ◆ 海外の蚊は、日本ではあまり見られない感染症の病原体を持っていることがあります。
- ◆ 病原体を持っているかは見た目では分からないので、蚊に刺されないようにしましょう。



渡航地の情報を入手し、予防のために必要な対策をとりましょう。
詳しくは、裏面をご覧ください。



山梨県

海外の感染症情報

- ◆ 海外渡航により様々な感染症にかかるリスクがあります。例えば、エボラ出血熱、MERS、ポリオ、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、黄熱、日本脳炎、狂犬病、A型肝炎、B型肝炎、破傷風などがあります。
- ◆ 厚生労働省検疫所のホームページでは、国・地域別に、感染症の流行状況、予防方法、体調が悪くなった場合の対応などの情報が掲載されています。
<https://www.forth.go.jp/destinations/index.html>
- ◆ ジカ熱は、中南米・カリブ海地域で流行していますが、それ以外の地域（ベトナム、フィリピン、マレーシア、ラオス、カンボジア、タイ、インドネシア、インド、バングラデシュ、モルディブ、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦、フィジー、パプアニューギニア、シンガポールなど）でも発生しています。最新の流行状況を確認してください。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000113142.html>



予防接種（渡航前）

- ◆ 海外渡航者の予防接種には、黄熱、A型肝炎、B型肝炎、破傷風、狂犬病、ポリオ、日本脳炎があります。
- ◆ 渡航地及び滞在期間に応じて必要なワクチン（予防薬）が異なります。厚生労働省検疫所のホームページで最新情報を確認してください。
<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>
- ◆ 数回接種する必要があるワクチンもあります。早めに（できるだけ出発3か月以上前から）、予防接種実施機関に相談してください。
※ 接種の準備もありますので、あらかじめ医療機関にお問い合わせください。
<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination02.html>（検疫所）
<http://www.yamanashi-iryo.net/>（やまなし医療ネット）



蚊に刺されない対策（渡航中・帰国後2週間）

- ◆ ジカ熱などの蚊媒介感染症の予防には、蚊に刺されない対策が重要です。
- ◆ 長袖、長ズボンを着用するなど、肌の露出の少ない服装を心がけてください。
- ◆ 虫よけの薬は、定期的に塗り直すなど、用法・用量を守り正しく使いましょう。
- ◆ 蚊媒介感染症流行地に長期間滞在する場合は、現地で高濃度の虫よけを購入することも良いでしょう。
- ◆ 国内で感染が広がらないよう、症状の有無に関わらず、帰国後も蚊に刺されない対策を2週間行ってください。

帰国後に具合が悪くなったら・・・

- ◆ 帰国後2週間以内に具合が悪くなった方は、医療機関を受診し、その際は必ず医師に渡航歴（どこの国に行っていたか）を伝えましょう。

★ このリーフレットの内容に関するお問い合わせ先

福祉保健部健康増進課（県庁）	TEL 055-223-1494	中北保健所 地域保健課	TEL 055-237-1403
中北保健所 峡北支所 地域保健課	TEL 0551-23-3074	峡東保健所 地域保健課	TEL 0553-20-2752
峡南保健所 地域保健課	TEL 0556-22-8158	富士・東部保健所 地域保健課	TEL 0555-24-9035